

■インタビュー「*Fieldworker*」

【考古】「世界が注目する縄文文化と噴火湾」

國學院大學教授 小林 達雄…………… 3

■研究報告

【年代測定】「炭素年代測定とはなんだろうか」

総合研究大学院大学日本歴史研究専攻博士課程  
伊達 元成…………… 6

■研究動向

【アイヌ】「アイヌ文化研究の現状—噴火湾沿岸のアイヌ資料」

北海道立アイヌ民族文化研究センター研究課長  
古原 敏弘…………… 8

■学会発表要旨

【考古】「伊達市有珠4遺跡—近世アイヌ民族の墓の調査」

伊達市噴火湾文化研究所学芸員 青野 友哉…………… 11

■研究スタッフ紹介・事業案内・次号予告…………… 16

表紙

「鋼の心」

撮影・解説：粟 島 暁 浩

受賞歴 平成 18 年 第 39 回道美展新人賞

weblog [http://blog.goo.ne.jp/hiro\\_photo72/](http://blog.goo.ne.jp/hiro_photo72/)

鞆（ふいご）で勢いを増す炎の中の鋼。赤く染まる頃合いを計っては取り出し、手槌を振るい鍛え上げる。伊達市黎明観刀鍛冶工房を主宰する渡辺惟平刀匠。人間国宝の宮入行平師（故人）に入門し、昭和 54 年の作刀承認を機に独立。新作名刀展に 10 度の入選を果たす。伊達市文化伝承者の一人でもある。刀匠の鉄を打つ力強い槌音はきょうも工房に響き渡る。「宮入一門の技術をこの地に根付かせたい」。鋼の心で伝統文化を守り続ける 58 歳。

